

第3学年 社会科学習指導案

日時 平成27年10月29日(木) 公開授業Ⅱ

児童 3年3組 男子14名 女子18名 計32名

指導者 百戸 直子

1 単元名 働く人とわたしたちの暮らし

2 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領[第3学年及び第4学年]の内容(2)は、「ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。」「イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり」である。

本単元では、地域の人々の販売や生産の仕事の様子について視点を明確にして見学し、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりする力をつける。さらにそれらの仕事に携わっている人々の工夫について理解し、自分たちの生活との関わりを考えることができるようにする。

(2) 児童について

子ども達は、3年生になって始まった社会の学習を楽しみにし、見学をしたり、学んだことをグループごとにまとめたりする活動に意欲的に取り組んでいる。また、町探検では、見たこと聞いたことを、メモを取りながら見学し、絵地図にまとめることで、町の特徴と土地利用の理由を関係付けて考えることができるようになってきた。しかし、まだ資料を正しく読み取ることができない子や、必要な情報を見つけることができない子も多いので、ポイントをしばって資料を読み取る練習を重ねていく必要がある。

(3) 指導にあたって

小単元1「工場で働く人の仕事」及び小単元2「店で働く人の仕事」では、様々な工夫を見つけることを視点として、牛乳工場やスーパーマーケットの見学を行い、販売や生産の仕事の様子から学習課題を見い出させる。その後、調べたことを交流したり関係する資料を読み取ったりすることで課題を解決する。さらに、それらの仕事に携わっている人々の工夫や自分たちの生活との関わりについて考えさせ、それぞれの考えを交流させたい。

工場や店の見学については、見学することによって「さらに知りたい、調べたい」という課題をもつことができるように、しっかりと見通しをもって活動させたい。牛乳工場見学では「安全でおいしい牛乳をつくるための工夫」を、スーパーマーケットでは「お客さんが買い物をしやすくするための工夫」を視点として見学することで、なぜそのような工夫をするのかを課題として学習を進めていく。

単元のまとめでは、販売や生産の仕事の工夫を伝えるちらしづくりを行い、本単元の学習を振り返る活動とする。

3 単元の目標

- 地域の人々の販売や生産の仕事の様子に関心をもち、それを意欲的に調べようとする。【関心・意欲・態度】
- 地域の販売や生産に携わる人々の仕事の工夫について考えさせ、それらの仕事自分たちの生活を支えていることに気づくことができる。【思考・判断】
- 地域の人々の販売や生産の仕事の様子を的確に見学し、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりすることができる。【資料活用の技能】
- 地域の販売や生産に関する仕事について調べ、その仕事の特色や他地域との関わりについて理解することができる。【知識・理解】

4 指導計画(働く人とわたしたちの暮らし:27時間扱い 本時20/27)

次	時間	学 習 活 動
一	1	身近にある販売や生産の仕事に関心をもち、調べる意欲をもつ。
二	10	工場で働く人と仕事について考える。
三	14	店で働く人の仕事について考える。(本時 第9時)
四	2	ちらしをつくって、仕事の工夫を伝える。

5 本時の指導について

(1) 目標

スーパーマーケットで働く人が、お客のことを考えた売り方の工夫をしていたことに気付くことができる。

(2) 評価規準

観点	B おおむね満足できる	Bに到達させるための手だて
思考・判断・表現	スーパーマーケットで働く人の工夫（服装、新鮮さ など）について2つの視点で考え、ノートに書いている。	見学のときに調べたことを記録したしおりや、スーパーマーケットの様子についてまとめた掲示を示しながら考えさせる。

(3) 指導の構想

見通す活動として、導入においてスーパーマーケットで働く人の写真を提示し、なぜ服装が異なるのかを切り口に、仕事の種類や工夫について話し合う。振り返る活動として、それぞれの仕事について学習した後に、働く人の思いを考えさせ、働く人はお客さんに喜んで買い物をしてもらうために様々な工夫をしていることに気付かせる。

(4) 展開

段階	学習活動	形態	○教師の働きかけと指導上の留意点 ●評価の観点（方法） ☆見通す・振り返る活動
導入	1. 前時の学習を想起する。 2. 本時の課題を確認する。 5分 なぜ仕事によって服そうがちがうのか考えよう。	全	○スーパーマーケット見学で見つけた、さまざまな工夫について、見学のしおりや掲示資料をもとに想起させる。 ○スーパーマーケットで働く人の写真を見せ、仕事の内容によって服装が違うことに気付かせる。
展開	3. スーパーマーケットで働く人の服装が違うわけについて話し合う。 4. 服装の他にどんな工夫をしているか考える。 5. さまざまな工夫をするスーパーマーケットで働く人たちの思いについて考える。 30分	ペア 個 全 個	☆働く人の写真から、どんな仕事を担当しているかを確認し、仕事の内容と服装を関係付けて考えさせる。 （レジ、売り場、調理、配送、案内カウンター） ○担当する仕事の内容によって服装が違っている意味を考えさせる。 ●【思考・判断・表現】 見学で見聞きしたことを、見学のしおりを見ながら思いだし、スーパーマーケットで働く人の工夫について考えることができる。（ノート、発言） ○考えたことを全体で交流し、働く人たちの工夫についてまとめる。 ○働く人は、お客さんが便利で安全に買い物ができるように、さまざまな工夫をしていることをおさえる。
終末	6. 本時のまとめをする。 スーパーマーケットで働く人は、お客さんが便利で安全に買い物ができるようにさまざまな工夫をしている。 7. 本時の振り返りをする。 10分 ・服そうが仕事によってちがうのは、働く人のためだけでなく、お客さんのためでもあることが分かった。 ・お年よりの方にはお手伝いをしてあげるなど、どんなお客さんにもよろこんでもらえるように気を付けていることが分かった。 ・他にもどんな工夫があるか、調べてみたい。	全 個 全	○考えたことを発表し合い、まとめにつなげる。 ☆本時の学習をして、「分かったこと・友達の良い意見・さらに知りたいこと」を視点に振り返りを書く。